

2. 毎年9万人がかかっています

日本では、乳がんにかかる女性が年々増えており、今では年間約9万人の女性がかかると推定されています。

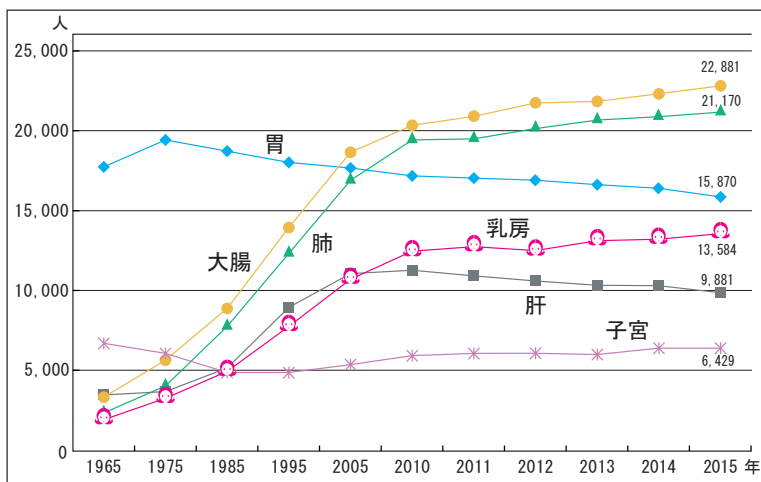
また亡くなる方も、ここ50年間で7倍にも増えています。

2015年には1万3584人の方が亡くなりました。

女性の全年齢層では大腸がんや肺がんで亡くなる方が多いのですが（グラフ1）、40歳前後を境に、乳がんで亡くなる方が増え始め（グラフ2）30歳から64歳では、乳がんが死亡原因の第1位となっています（表1）。

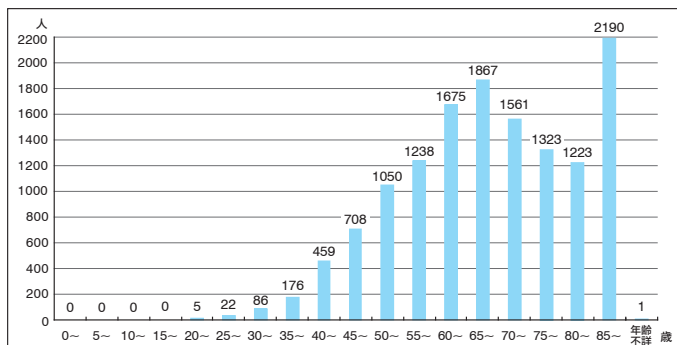
近年では50代後半、60代前半に乳がんを発生する方が増えてきています。また若い年代の乳がんにかかる率も年々上昇しています（グラフ3）。20代でかかる方は少ないとはいえ、若いときから関心をもつことが大切です。

グラフ1 女性のがん部位別死亡数の推移



厚生労働省 人口動態統計（2015年）より

グラフ2 40歳前後を境に、乳がんで亡くなる人が急激に増加します



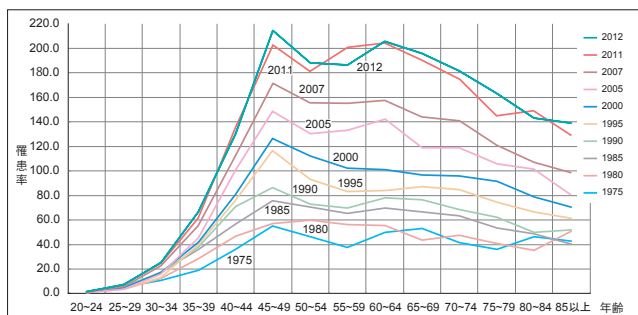
厚生労働省 人口動態統計「死因別死亡数」(2015年)より

表1 女性壮年層ではがんによる死亡原因の1位は乳がんです

20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳
白血病 11	乳房 22	乳房 86	乳房 175	乳房 459	乳房 708	乳房 1050	乳房 1238	乳房 1675	肺 2175	肺 2668	肺 3152

厚生労働省 人口動態統計「死因別死亡数」(2015年)より。数値は人数

グラフ3 乳がんにかかる率は年々上昇しています



国立がん研究センターがん対策情報センター
全国がん罹患数・率推定値(1975~2012年)より